



# 株式会社菅原組

社内報

vol. 13

2020年10月号



管理本部 係長

# 成田 いくみ

## 入社のきつかけ

商業高校で簿記の勉強をしていたことから、その知識を活かせる事務系のお仕事を志望していました。そこで就職担当の先生より、「菅原組は安定している良い会社だ」とすすめていただきました。面接の前日には会社のことを少しでも知ろうと、建物の外観を見に来たことを記憶しています。当日はとても緊張しておりほとんど記憶がありませんが、「優しいそんな社長だな」と感じたことを覚えています。

## 業務内容

これまでは経理を担当させていただいていましたが、現在は後任の方に引き継いでいる段階です。今後は労務・総務に携わることになるため、お仕事の引き継ぎを受けています。具体的には、労務給料、就業規則等の文書、また労働衛生等の業務です。

## 仕事のやりがい

以前は下請け業者との契約業務を主に担当していました。常に意識していたことは、「急な対応があっても依頼者の希望通りの日程で契約を進められるようにする」ということです。注文書の発行後に請書を頂くという一連の流れの中で、依頼者の希望通

## 今後の目標

2019年に衛生管理の資格を取得したこともあり、時代に合った労働環境の改善策を考え、全従業員の働きやすい職場環境にしていきたいと考えています。加えて、私自身が産休後に仕事に復帰したという経験がありますので、産休・育休を取得する従業員が安心して職場に復帰できるように、職場全体でサポートを広めていきたいです。特に女性の不安を少しでも和らげよう、相談に乗りながら適切なアドバイスが出来るように、色々な事例を勉強していきます。



りの目にちに完了できるよう、依頼を受けるとすぐに着手するようにしていました。依頼者の方から実際に感謝の言葉を頂けるとお役に立てたという実感が得られ、大きなやりがいを感じられます。

## 苦労したこと

高校卒業直後は人見知りな性格で、大人の中に入ってコミュニケーションを取ることが戸惑っていました。当時は社会のことも分からず、先輩方に支えていただきながら1から学んでゆきました。特に電話対応では、相手から聞かれたときに正しい回答ができる自信がなく、電話が鳴るといつもドキッとしていたことを思い出します。当時は先輩方の対応の仕方を側で聞いて学びながら、練習を重ねていました。



▲お祭りにて。左 三浦さん、右 成田さん

# CHECK!

# 現場レポート

あんな現場やこんな現場、あなたの知らない現場や事例について  
このページで紹介しちゃいます!



## 現場名

北海道津軽海峡地区  
松前小島魚礁設置工事

## メンバー

工事部 作業所長

くどう たかお  
工藤 隆雄さん  
あらせ しおり  
荒瀬 汐里さん

## 着工日

令和2年5月30日

## 完成予定日

令和3年1月30日



## 作業内容

FP3.00型の魚礁を一度につき100個製作し、完成したら発注者である渡島総合振興局の水産課の検査を受けます。その後、製作ヤードから松前港までトレーラーで陸上運搬後、起重機船に積替え、沖合の現場に沈設するという流れで作業を行っています。1日40個の沈設が可能ですが、100個製作することに検査を受けるという繰り返しのため、最後の沈設は10月になる予定です。それが終われば出来形測量を行って完了となります。



▲115個の魚礁製作完了!

全体で16670㎡の海域に、大きさ3m×3m×3m、重量12tの魚礁を326個沈設するという大規模な工事となっており、工期も通常より1か月ほど長くなっています。

## 今後の課題

沈設を行う海域は季節風の影響を大きく受けるため、お盆を過ぎ、冬が近づくにつれ荒くなる一方です。海上の条件を見極めつつ、海の荒れ方が酷くならないうちに、作業を1日でも早く終わらせることが喫緊の課題となっています。



## 作業にあたり気をつけるべきポイント

一番は作業員の安全を考えています。特にクレーン作業はちょっとしたミスでもすぐ大怪我につながってしまうので、現場担当として作業員の様子を常に注視しています。また最近では異常気象による熱中症や新型コロナウイルスもあるので、作業中でも定期的に声をかけるなど体調管理も重視しています。

そして魚礁の制作においては、品質の維持やクラックの発生防止を常に考えています。魚礁は通常のブロックと異なり、梁やアーム、柱から成る複雑な構造となっています。こうしたことから高い精度が求められるため、少しでも気になったことがあれば細かく指導するようにしています。

## 社員の皆様へのメッセージ

終盤にかかっている現場が多いと思いますが、事故なく終わられるよう、安全第一で気を抜かず頑張りましょう!



# CHECK!

# 現場レポート ②



▲ケーソン据付

**現場名** 江良漁港波除堤その他工事

**メンバー**

**着工日** 令和2年4月16日

工事部係長

さわや たかひろ  
澤谷 高広さん

工事部工事係

ひらの まさと  
平野 聖人さん

**完成予定日** 令和3年2月22日

工事部工事係

たかやま たかのり  
高山 隆寛さん

工事部工事係

むらこし あゆみ  
村越 鮎美さん

## 作業にあたり気をつけるべきポイント

ケーソン2函の回航・据付作業に伴う施工方法及び安全管理です。

函館港から江良漁港（L=55湊）までの長距離回航に伴い、函館～江良漁港迄の関係機関（漁組・フェリー等）との日程調整や、ケーソン回航時はえい航船舶にwebカメラを設置し24時間体制で管理しています。また、ケーソン据付時は事前に関係協力会社と幾度も協議し、施工手順を確立して安全に施工する事が出来ました。



▲測量中の平野さん



▲準備・清掃中の高山さん



▲測量中の村越さん



▲隣接工事打ち合わせ

## 大変だったこと

今回担当した工事の中で「ケーソン進水据付工」に55湊ものケーソン回航があり、会社でも経験が少なかったため、他社の類似工種現場の視察をさせて貰い、勉強してきました。

今回の工事は、会社にとっても作業所メンバーにとってもとても貴重な経験となりました。今後、同様の工事があった時に活用できるように今回の経験を会社の財産にし記録として残しておきたいです。

発注者からも注目度の高い工事でした。

## 社員の皆様へのメッセージ

若手技術者も増えてきたことにより、今まで会社になかった意見が出てきたりすると思います。若手やベテランではなく、いち技術者として切磋琢磨して行きましょう。もう秋です。環境が変化しますので体調には気をつけて皆で頑張りましょう。

# インターンシップを終えて —— 体験レポート part2

8月31日から9月4日までの5日間に亘って、  
学生が当社でインターンシップの体験をしました！  
果たしてどんな体験となったのでしょうか……！？  
前号に引き続き必見です！

【参加者】 室蘭工業大学 山本 亜美さん 矢野 悠佑雅さん

【体験した現場】 若松地区岸壁改良工事現場 など

DAY  
1

土木とはどのような  
仕事なのか学びました！

函館本社でオリエンテーションのほか、函館開発建設部と渡島総合振興局函館建設管理部を訪問。同大学出身の職員から、土木の仕事に携わるにあたって感じる楽しさや大変さ、やりがいなどについてお話を聞きました。その後、山背泊漁港で製作されたブロックなどを見学。土木工事において、どのような建造物が完成するのか実感できました！



DAY  
2,3

松前方面の現場で  
本格的な実習を行いました！

採石場と生コンの製作工場を見学した後、小島作業所で実際に生コンの打設を体験。コンクリートがブロックになる一連の流れを生で見るのが出来ました。

翌日、原口漁港で朝礼を体験したあと、第十すがわら号に乗船。起重機船に触れ、「海洋土木」を実感しました。その後には江良漁港で先日据え付けたケーソンについて、回航時の状況や据え付け計画

について担当の技術者から話を聞き、実物を見学。ケーソンの上での天端高さの測量も実習しました。

DAY  
4,5

函館港若松地区にて  
岸壁を見学！

若松地区では、建設時の作業映像を見て岸壁がどのように作られたのか体験したあと、完成した岸壁を見学。その利用と役割を学んだほか、舗装出来形管理や防舷材取付管理など、岸壁完成後の業務について学びました。



▲みなさん真剣な眼差し

## 【感想】

### 山本 亜美さん

若松岸壁の見学が特に印象に残りました。岸壁の色を周囲の景観に合わせて変えるなど、整備して終わりではなく、地域の観光復興なども考えていることに驚きました。

### 矢野 悠佑雅さん

普段、学校では知ることの出来ない用語など、現場の実習を通じて知ることが出来ました。土木業界で働くやりがいなどを感じ取れたので、今回の経験を就職活動に役立てたいと思います！

▲楽しくお昼を食べました！

NEWS!

## 企業版ふるさと納税をしました！

9月1日に、北海道二海郡八雲町に企業版ふるさと納税をしました。八雲町と合併する前の旧熊石町に当社の出張所があったこと、そして八雲町内で多くの現場を施工させていただいていることなどご縁があり、この度企業版ふるさと納税をさせていただきました。



# こんな活動、知ってた!?! 社会貢献活動レポート

## ★献血活動

管理本部  
三浦 杏香さんに聞きました!



**日時** 2020年9月28日(月) 13:00~15:00  
**参加人数** 社内、社外・一般の方の参加もあり、計30名(内10名が社内)  
**場所** (株)菅原組 本社駐車場にて 移動献血車「ひまわり号」内

**当日の流れ** 【献血の手順(1人20分程度)】……………  
 …… 献血受付・問診回答→血圧計測・医師による問診  
 …… →血液事前測定・ヘモグロビン濃度測定→採血→休憩



▲献血中の社長

▲小林部長

### 活動を終わっての感想

今回は前回に比べ、参加者が9名も増えました!協会会社にお声がけをしたり、自主的に参加していただいたりした皆さんのおかげだと嬉しく思います。

新型コロナウイルス感染症対策としては、受付時に検温、手指の消毒、ソーシャルディスタンス確保のためバスの中に入れる人数を制限して外で待っていただくなど各所で対応がありました。また、今回から指先に小さい針を刺すだけでヘモグロビン濃度の測定が出来るようになり、あまり痛みを感じずに測定できるうえ、10秒ほどですぐに結果が出ますので身体にとっての負担も少し軽くなったと思います。

なお、北海道赤十字センターの方の話によると、提供された血液には実は期限があり、**採血してから21日間(3週間)で使えなくなってしまう**そうです。そのため、継続的に献血に協力していただくことが欠かせません。



▲相談役



▲山登さん

### 次回に向けて

現代の技術では人工的な血液をつくる事が出来ないため、健康な方の血をわけてもらう必要があります。私たちが万が一、輸血が必要になった場合に血液が足りない状態だと命の危機となります。もし自分がそうなったら、大切な家族や友人がそうなってしまったら、どうでしょうか?私も以前、輸血によって命が繋がった経験があり、輸血が出来たことに今でも感謝しています。

輸血(自己血輸血を除く)や臓器移植を受けたことのある方は、現在の検査法では検出できない未知のウイルス感染の可能性が考えられるそうで、輸血の安全性を可能な限り高めるために献血をすることは出来ません。そのため、恩返しのために私が出来ることが献血の協力を呼び掛けることしか出来ませんが、これからも皆さんに献血についての情報を発信していきたいです。



▲しっかりとソーシャルディスタンスをとっています。

表彰報告

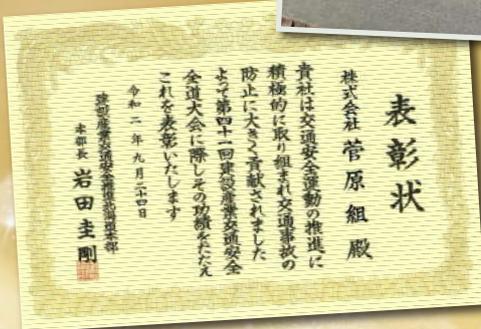
# 表彰状を いただきました!



令和2年9月24日

交通安全活動の推進について建設産業交通安全  
推進北海道本部より表彰状をいただきました!

今後も交通安全推進活動に力を入れ、みなさんが  
安心して暮らせるよう協力していきましょう!  
よろしくお願いいたします!



## HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

### 10月生まれの皆さんをご紹介します。

10/9 工事本部工事部 課長  
しんや ゆうじ  
新谷 裕治さん

10/10 工事本部工事部員  
くどう たかお  
工藤 隆雄さん

10/10 工事本部工務部 主任  
(第十すがわら丸船長)  
かわい ひろや  
川合 裕也さん

10/11 工事本部工務部  
(第十八すがわら号)  
ふじた ただお  
藤田 忠夫さん

10/16 工事本部工務部  
(第十すがわら号)  
みやきた しゆん  
宮北 隼さん

10/19 管理本部松前支店  
養殖事業担当  
ささむら まさし  
笹村 正志さん

10/24 工事本部工事部 係長  
さわや たかひろ  
澤谷 高広さん

10/28 管理本部安全課長  
はなだ きいち  
花田 喜一さん

### 気軽なストレッチで疲れをほぐそう!

## 座ってできるストレッチ特集

長時間同じ姿勢での作業やデスクワークなど、不安や緊張で生じるストレスでこりはおきます。そんな時は、座ってできるストレッチをどうぞ。縮んで固くなった筋肉をしっかり伸ばすことで、筋肉がほぐれます。少し疲れたなと思ったら、ぜひお試しください!



### 1 酸素巡って思考がすっきり! 肋骨まわりの呼吸筋ストレッチ

- ①椅子に座り、背筋を伸ばす。
  - ②片手を斜め上に上げ、扇を描くように横に倒していく。
- 左右交互に、5呼吸分を2回ずつ。

### 2 腰痛やだるさを解消! 骨盤・おしりまわりのストレッチ

- ①座った状態でくるぶしを逆足のひざの近くにのせる。
  - ②背筋を伸ばしたまま、上半身を前に倒した状態で20秒キープ。
- 左右交互に2回ずつ。

### 3 溜まった老廃物とサヨナラ! 股関節まわりの巡りをよくする「イチロー」ポーズ

- ①座った状態で上半身を前に倒す。
  - ②右肩を思い切り前に入れて上半身を左にねじって20秒深呼吸。
- 左右交互に2回ずつ。